

取組みの主な進捗状況

生活のDX

大雪時の車両滞留をAIで早期検知する実証を実施しました！



大雪時の車両滞留（スタック）について、車の走行データ、気象情報やSNS投稿情報等をAIで分析し、迅速な検知ができるモデル構築および検証を行いました。スタックの早期発見による交通障害の早期解消を目指し、今後も引き続き検証していきます。

職業系高校でデジタル教育を行っています

令和4年度新教育課程実施にむけ、すべての職業系高校において、外部講師による授業を行うなど、デジタル教育を実践しています。1月には、武生商工の学生が、行政データを用いて学生自らが課題解決に繋がるアプリの開発に挑戦しました。



産業のDX

観光客ニーズをデータから分析・活用します！



2月に、県内の観光エリア・施設に設置したQRコードからWEBアンケートを実施しました。今後は、収集したマーケティングデータから、観光客の属性や興味関心を「見える化」し、それに合った商品開発やアプローチを実践していきます。

人流センサーの無償貸出を行っています！

ふくい産業支援センターでは、県内企業にオリジナルの人流センサーを無償貸出しています。施設の入退室をリアルタイムで可視化でき、データ化の利便性と必要性を体感できます。（詳細は[こちら](#)）



行政のDX

アイデアボックスで皆様からのお声を頂きました



1月中旬から2月末までアイデアボックスを活用し、県民のニーズ把握の実証を行いました。デジタル技術を活用して皆さまの声（ご意見やアイデア）を傾聴する力を強化し、政策形成への県民参加の実現に努めています。

全庁でペーパーレス化を推進しています！

働き方改革の一環として、全庁的なペーパーレス化を推進しています。1月には、知事による予算査定を初めてWEB会議で実施するなど、業務のペーパーレス化やオンライン化を徹底し、柔軟で効率的な働き方を率先します。



最近の県の動き

令和4年度のDX事業がまとまりました！

3月18日、県のDX推進の方向性を示した「福井県DX推進プログラムver.2.0」を策定しました。30事業の新規・内容拡充を図り、事業数・予算規模とも前年度を超えたDX推進に取り組めます。



プログラム内容は、DX推進の土台整備と県民の皆様へ利便を実感できる取組みの2層で、「生活のDX」「産業のDX」「行政のDX」に分けて紹介しています。ぜひご覧ください。



民間企業からCDO補佐官2名を採用しました！

福井県のDX推進に対するアドバイスをを行う未来戦略アドバイザー（CDO補佐官）を一般公募し、1月、363名の応募の中から、岡島幸男氏、狩野英司氏の2名を採用しました。



2名は「兼業・副業」というかたちで、庁内・市町のDX人材育成、研修の実施や県民向けサービスの企画・提案への助言などを行い、DXの取組みを強力に推進していきます。

「ふくいDXセミナー」を開催しました！



3月15日、県国際交流会館において「ふくいDXセミナー」を開催し、オンラインも含め180名の方のご参加をいただきました。国内初の自治体CDO 菅原直敏氏の基調講演など、大変盛況でした。

地方発のDX推進の最先端を目指す福井県の取組み（未来技術活用プロジェクト）6件について、県民・市町・県内企業向けに成果報告を行いました。セミナーの様子は[こちら](#)。

